

■ 日漢協トピックス

「漢方アロマコース」にて「生薬の流通」の講義

2018年10月14日(日)、日本薬科大学お茶の水キャンパスにおいて、当協会の生薬委員会の浅間宏志氏が、文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム(BP)」漢方アロマコースで「生薬の流通」に関する講義を行った。当協会として漢方アロマコースに関しては、9月30日の長島委員長に引き続いての登壇であった。



浅間 宏志氏

講義では、日本での生薬探求の歴史から始まり、現在の調達状況、食薬区分やワシントン条約などの生薬流通のルールなどの説明があった。さらに、現在日本で使用されている生薬の量の推移、その価格高騰など取り巻く環境の変化まで解説し、生薬の供給の大変さの理解を求めた。特に、中国から生薬の調達量は多いが、中国にとって日本のマーケットは小さく、今後も日本が良品質の生薬を輸入するには、中国との連携、そして相互理解による継続的な友好関係構築が重要であると語った。

年間継続聴講の45名に加えて、スポット受講生の参加もあり、休憩時間や講義終了後も講師への質問が続くなど、熱心な姿が見られた。



主催者挨拶 日本薬科大学
新井一郎教授

